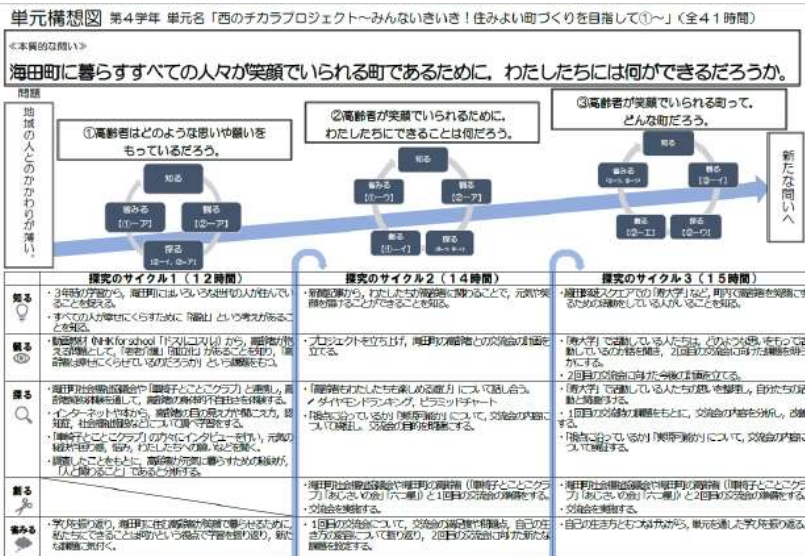


〈海田西中学校区〉

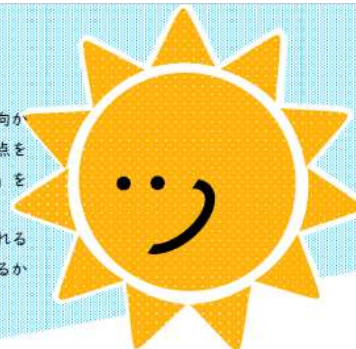
主体的に学びを深める 児童・生徒の育成

～探究的な学習の単元開発・実践・改善を通して～

はじめに



単元構想図



児童生徒が真剣に、本気になって学びに向かう学習活動を構想するうえで、PBLの視点をもとに、海田西中校区独自の「単元構想図」を活用しています。

また、期待される児童生徒の姿を書き入れることで、資質・能力が確実に育成されているかどうかを把握することができます。

海田西中学校区 探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業

主体的に学びを深める児童生徒の育成

～探究的な学習の単元開発・実践・改善を通して～

「児童生徒の資質・能力をひまわりのようにのびのびと育てていきたい」。そのような願いのもと、「単元構想図」を温かく照らし成長を促す「太陽」に、「振り返りの視点」を生命の源である「水」に例え、取組を進めてきました。

単元構想図

資質・能力

振り返りの視点

資質・能力の育成をより確かなものにするため、中学校区で育成する資質・能力を設定しました。「学びを言語化し、主体的に自己の生き方について考える児童生徒」を育てていきたいと考えています。

コミュニケーション力

探究の過程において、自分の考えをもち他者に伝えるとともに、異なる意見や考えを生かしながら合意形成を回り、他者と協力して問題の解決に向けた探究に取り組むことができる。



主体性

課題の解決に向け、自分の意思で目標をもち、周囲と協働しながら探究活動に粘り強く取り組むことができる。



メタ認知

実社会や実生活における「ひと・もの・こと」との関わりを通して、自分を俯瞰して捉え、考えを広げたり、深めたりしながら自己の生き方を考えることができる。



ふりかえりの視点

学びと成長

- 何が分かったか、できたか
- 何が分からなかったか、うまくいかなかったか
- 考えがどのように変わったか、深まったか

学び方

- まねをした考え方や学び方
- どのような学習の進め方をしたからか

これからの見直し

- もっと良い進め方があるか
- もっと知りたいこと、できるようにしたいこと
- これからの学習や生活に生かせること

「進め方」とは

- どのような手順で解決するか。
- どうやって進めるのか。
- どのような（たれの）考えを使うか。

【海田西小学校の振り返りの視点】

振り返りの視点

振り返りは、自己と対話することで、学習内容とつながり、学びの広がりや深まりを自覚することができます。また、自己を見つめることは、「メタ認知」を育成することにつながります。

海田西中学校区では、各校の実態に応じて振り返りの視点を設定し、児童生徒の実態、学習内容や活動によって、柔軟に視点を与えています。

海田町の「人・もの・こと」

古くは山陽道の宿場町として栄え、今でも交通の要衝となる利便性・快適性が高い町です。また、町外からの人口流入も多く、暮らしやすさが実感できる町です。町の中心部では都市化が進む一方、豊かな自然や歴史ある町並みも現存しています。日本人初の金メダルを獲得した織田幹雄、江戸時代より伝わる郷土料理「海田さつま」などが自慢です。海田西中学校区では、地域の「村」を生かし「本物」の探究を進めています。

単元構想図

(別紙1) 単元構想図 第4学年 単元名「西のチカラプロジェクト～みんないきいき！住みよい町づくりを目指して①～」（全41時間）

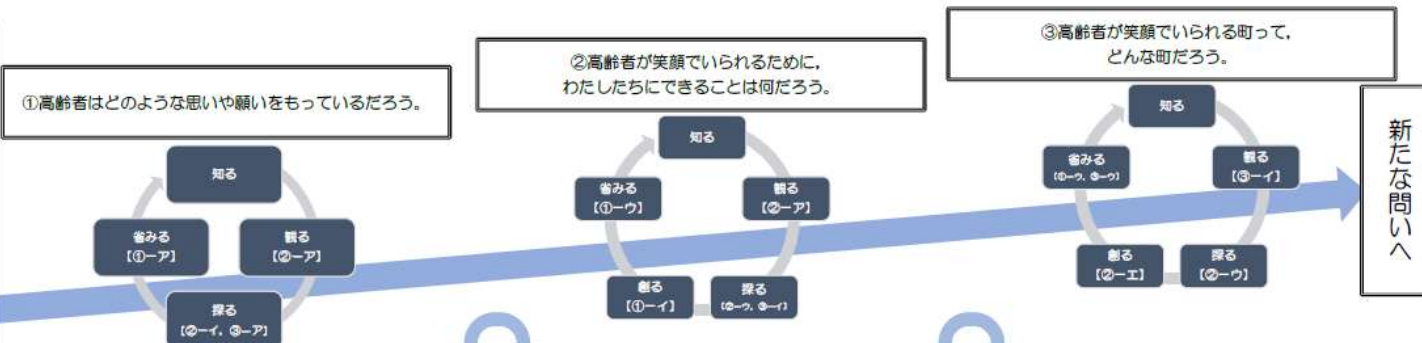
《本質的な問い》

海田町に暮らすすべての人々が笑顔でいられる町であるために、わたしたちには何ができるだろうか。

問題

地域の人とのかかわりが薄い。

新たな問いへ



	探究のサイクル1（12時間）	探究のサイクル2（14時間）	探究のサイクル3（15時間）
知る 💡	<ul style="list-style-type: none"> 3年時の学習から、海田町にはいろいろな世代の人が住んでいることを捉える。 すべての人が幸せにくらすために「福祉」という考えがあることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事から、わたしたちが高齢者に関わることで、元気や笑顔を出せることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 織田幹雄スクエアでの「寿大学」など、町内で高齢者を笑顔にするための活動をしている人がいることを知る。
観る 👁️	<ul style="list-style-type: none"> 動画教材（NHK for school「ドスルコスル」）から、高齢者が抱える問題として、「老老介護」「孤立化」があることを知り、「高齢者は幸せにくらすためののだろうか」という課題をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを立ち上げ、海田町の高齢者との交流会の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「寿大学」で活動している人たちは、どのような思いをもって活動しているのか話を聞き、2回目の交流会に向けた課題を明らかにする。 2回目の交流会に向けた今後の計画を立てる。
探る 🔍	<ul style="list-style-type: none"> 海田町社会福祉協議会や「車椅子とことこクラブ」と連携し、高齢者疑似体験を通して、高齢者の身体的不自由さを体験する。 インターネットや本から、高齢者の目の見え方や聞こえ方、認知症、社会福祉施設などについて調べ学習をする。 「車椅子とことこクラブ」の方々にインタビューを行い、元気の秘訣や困り感、悩み、わたしたちへの願いなどを聞く。 調査したことをもとに、高齢者が元気に暮らすための秘訣が、「人と関わること」であると分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者もわたしたちも楽しめる遊び」について話し合う。 ダイヤモンドランキング、ピラミッドチャート 「視点に沿っているか」「実現可能か」について、交流会の内容について検証し、交流会の目的を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「寿大学」で活動している人たちの思いを整理し、自分たちの活動と関連付ける。 1回目の交流時の課題をもとに、交流会の内容を分析し、改善する。 「視点に沿っているか」「実現可能か」について、交流会の内容について検証する。
創る ✂️		<ul style="list-style-type: none"> 海田町社会福祉協議会や海田町の高齢者（「車椅子とことこクラブ」「あじさいの会」「六つ星」）と1回目の交流会の準備をする。 交流会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 海田町社会福祉協議会や海田町の高齢者（「車椅子とことこクラブ」「あじさいの会」「六つ星」）と2回目の交流会の準備をする。 交流会を実施する。
省みる 🧠	<ul style="list-style-type: none"> 学びを振り返り、海田町に住む高齢者が笑顔で暮らせるために、<u>私たちにできることは何が</u>という視点で学習を振り返り、新たな課題に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 1回目の交流会について、<u>交流会の満足度や問題点、自己の生き方の姿勢</u>について振り返り、2回目の交流会に向けた新たな課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生き方ともつなげながら、単元を通じた学びを振り返る。

🌻 本質的な問い

単元構想シートを活用し、探究課題に対する「本質的な問い」を設定し、それぞれの探究のサイクルに「単元を貫く問い」を位置づける。

🌻 児童生徒を主語に

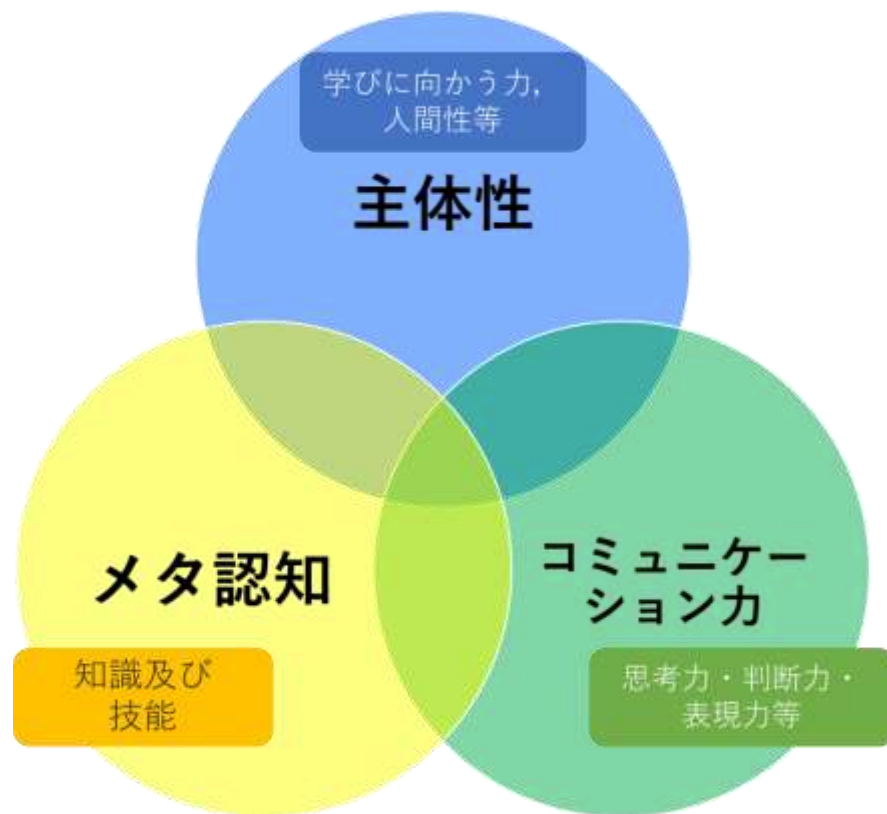
児童・生徒が探究する姿を思い描き、学習活動を探究のサイクルに位置付けることで、具体的な学習活動が連続し、一連の問題解決となる。

🌻 指導と評価の一体化

資質・能力の高まりが期待される場面を確かめ、構想した学習活動が資質・能力の育成につながっているかの検証する。

海田西中学校区で育成する資質・能力の定義

課題の解決に向け、自分の意思で目標をもち、周囲と協働しながら探究活動に粘り強く取り組むことができる。



実社会や実生活における「人・もの・こと」との関わりを通して、自分を俯瞰して捉え、考えを広げたり、深めたりしながら自己の生き方を考えることができる。

探究の過程において、自分の考えをもち他者に伝えるとともに、異なる意見や考えを生かしながら合意形成を図り、他者と協力して問題の解決に向けた探究に取り組むことができる。

資質・能力の育成のために

【課題設定の工夫】

- ・ 実生活や実社会と関わる必然性のある課題設定
- ・ N I E の活用
- ・ 題材との出会いの工夫（問題の意識化）
- ・ 実現（解決）の見通し（問題の課題化）

学びに向かう力、
人間性等

主体性

メタ認知

知識及び
技能

**コミュニケー
ション力**

思考力・判断力・
表現力等

【協働の場づくり】

- ・ 活動の視点の明確化
（目的の共有化）
- ・ 思考ツールの活用
（情報の共有化）
- ・ I C T の活用
（情報の共有化）
- ・ 地域人材の活用

【振り返りの工夫】

- ・ 自己評価シートの記入
（学びの言語化）
- ・ 単元ルーズブック作成
- ・ 単元を貫く問いの活用
- ・ 振り返りの視点
- ・ 作成物や自己評価等の比較
- ・ これからの学習への転用を
表現する場（新たな課題）

資質・能力のカリキュラム・マネジメント



職員研修での共通認識

資質・能力がどの教科・単元で身に付けることができるのかを、学校教育目標や学年目標と関連付けることができた。1つの教科・単元にとどまらず、資質・能力の視点をもつことで、教科横断的に捉えることにつながっている。

振り返り



振り返りの視点

ふりかえりの視点

学びと成長

- 1 何が分かったか、できたか
- 2 何が分からなかったか、うまくいかなかったか
学ぶ前の自分と比べて
- 3 考えがどのように変わったか、深まったか

学び方

- 4 まねをしたい考え方や学び方
- 5 どのような学習の進め方をしたからか

これからの見通し

- 6 もっと良い進め方はあるか
- 7 もっと知りたいこと、できるようになりたいこと
- 8 これからの学習や生活に生かせそうなこと

「進め方」とは…

- どのような手順で解決するか。
- どうやって調べるのか。
- どのような（だれの）考えを使うか。 など

海田西小学校

ホップ

- 学習して分かったこと
- 分からなかったこと
- できるようになったこと
- はじめて知ったこと
- なるほどと思ったこと

ステップ

- まねしたい考えや方法
- 今まで学習したこととつながりを挙げて書く
- 理由や根拠を挙げて「ホップ」の内容を書く

ジャンプ

- どう生活に生かすか
- 学ぶ前との変化
- もっと知りたいことやできるようになりたいこと
- 次の学びにどう生かすか

海田小学校



振り返りと資質・能力



主体性

学びの現在地を確かめ、次への課題を発見し、児童・生徒の言葉で授業がつながっていく。



コミュニケーション力

振り返りを通して自分の考えを整理することが、考えを表現する基盤となる。



メタ認知

振り返りを通して自己と対話することが学習内容を自らとつなげ、自己の変容、学びの広がりや深まりを自覚することにつながる。

■ 海田西中学校区のあゆみ

実践事例 1

単元情報

単元名

発見！たんけん！海田町～海田町の“いいね”を伝えよう～

探究課題

地域共生社会

学年（時間）

小学校第3学年（20時間）

① 課題設定の仕方



校区にあるシルバープラザで作られている、せんべいです。

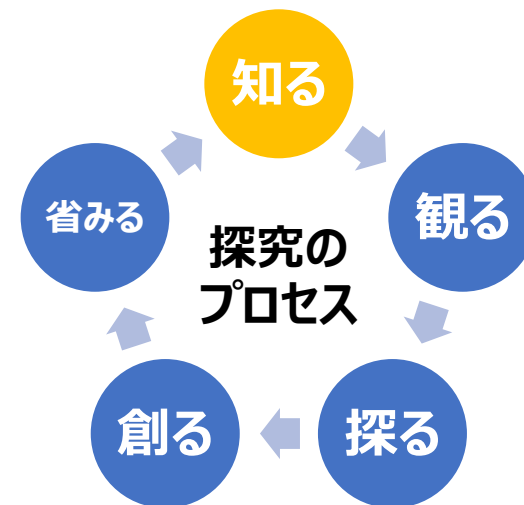


海田町シルバープラザで製造

食べたことないな。日浦山，旧千葉家住宅，織田幹雄，ひまわり大橋の絵があるね。



日浦山とひまわり大橋は知ってるよ。海田町にあるよね。何のために書いてあるのかな？



題材との出会い
「不思議だな」「どうしてかな」

問題の意識化

①課題設定の仕方

ふるさと海田町に思いをこめて 海田町シルバー人材センター ☎823-2733 0822-5512

飽きのこない素朴な味が魅力です

- ◇「海田ひまわり煎餅」12枚入り/360円
- ◇「海田おこし」130グラム/360円
- ◇「海田名所煎餅」16枚入り/360円
- ◇「海田ふるさと絵手紙」1箱/1,250円、2箱/2,400円

※「ひまわり煎餅」「海田おこし」「海田名所煎餅」の詰め合わせ。

取り扱い店◆海田町シルバー人材センター、海田総合公園、市松寿司、天然温泉さがの海田、福景園、JA安芸ギフトセンター（花かご館）、JR駅構内売店（海田市駅、矢野駅、向洋駅、安芸中野駅）



2014年4月海田町広報による



海田町には、魅力がたくさんあります。どうぞ一人一人の“いいね!”を見つけてみてください。

シルバープラザの事務局長さんのお話

このせんべいに、どのような思いがこめられているのだろう？



海田の魅力を伝えるせんべいなんだな。どんな魅力なのかな。

わたしも、海田町の“いいね!”を見付けたい。



「知ったこと」から「**やりたいこと**」へ

①課題設定の仕方

“いいね!”を見付けに行きたいな。

伝えたいな。

東小3年生と交流。

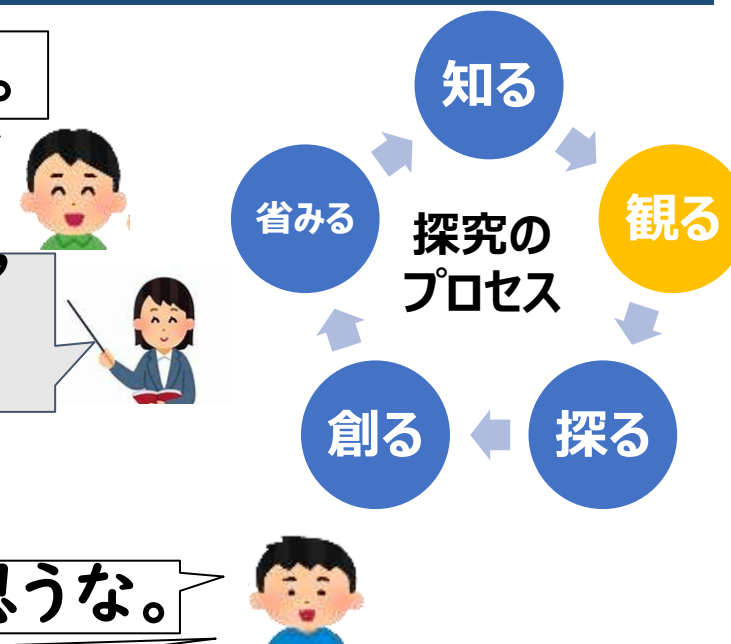
もっと多くの人にも。

東小の3年生や海田町に住んでいる人に“いいね!”を伝えるためには、どんなことをしたらいいんだろう。

海田市ガイドの会の人に教えてもらいたい。

ポスターを作ったら、たくさんの人に見てもらえると思うな。

Googlemeetを使ったら、東小まで行かなくても伝えられるね。



学習者の「～したい」→
実現（解決）の見通し

問題の課題化

②協働の場づくり



旧千葉家住宅



織田幹雄スクエア



西国街道ガイドの様子



“いいね!”を
「美しさ」「便利さ」
「人の努力」の視点
で見つけよう。



織田幹雄スクエアで
は、織田幹雄さんが、
いろんな努力をした
ことが分かったな。



千葉家の“いいね!”は、
欄間にかわいい動物
が描かれていること。



見学や体験の**視点**
「何のため」「誰のため」

目的の共有化

②協働の場づくり



キャッチコピーと具体を結び 付けるクラゲチャート



思考ツールを使って意見交流



どんなポスター にしますか。



国語で、キャッチコ ピーがあると分かり やすいことを学んだ ね。使ってみようよ。

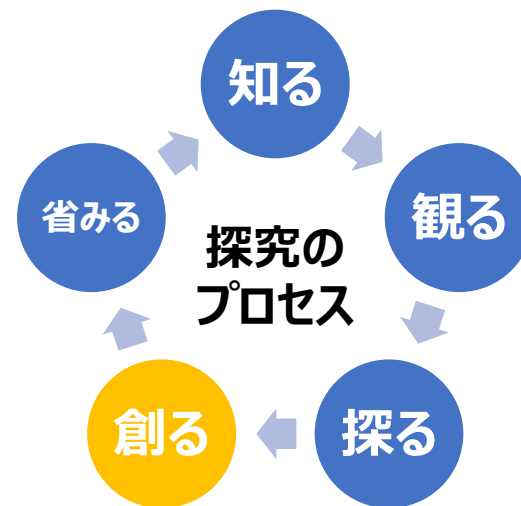


みんなの知らないこと千葉家
【千葉家のいいね!ベスト3】

- 1位 美しいふすま
- 2位 電気をつかわないぬいごうこ
- 3位 火事をふせぐかわら



児童が作成したポスター



思考ツールを活用



思考の見える化

情報の共有化

②協働の場づくり



Google meetでの
東小との交流



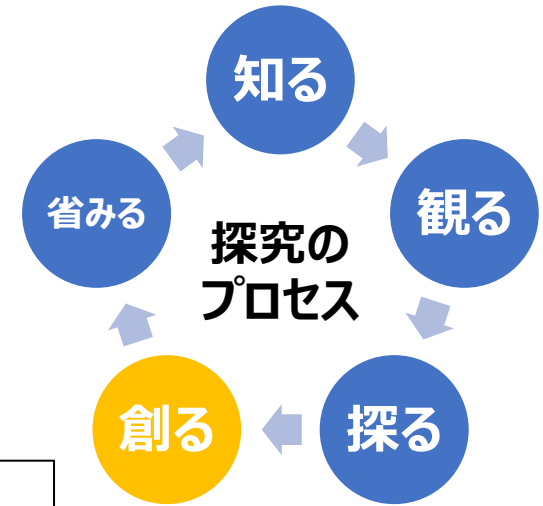
東小の3年生との
「海田町“いいね!”交流会」
どんな会にしたいですか。



Googleスライドで分かりやすく。



質問や感想を言い合えるといいな。



交流後の児童の振り返り

東小との交流会をして、自分のいいところと
友達のいいところを見つけました。(中略)
また他の小学校の人とも話し合いたいです。
この学習を考え出した私達もすごいなと思
いました。

わたしは、今日の交流会でみんな笑顔
で話せてよかったと思いました。(中略)
かわり合う力と発表する力がついた
のは、東小の3年生のおかげなので、感
謝をしています。

③振り返りの方法



今日の学習を振り返りましょう。

		
進んで取り組む力	<ul style="list-style-type: none"> ワクワク・ドキドキする 海田町の「美しさ」「べんりさ」「人々の努力」と例を見付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ワクワク・ドキドキする 海田町の「美しさ」「べんりさ」「人々の努力」を見付ける
かかわりあう力	<ul style="list-style-type: none"> うなずきながら聞く 同じところやちがいをくらべながら聞く 自分の考えを表す 話をせいりする 	<ul style="list-style-type: none"> うなずきながら聞く 同じところやちがいをくらべながら聞く 自分の考えを表す
ふりかえる力	<ul style="list-style-type: none"> 海田町への思いが深まったことに気付く 次にできることを見付ける 	<ul style="list-style-type: none"> 海田町への思いが深まったことに気付く

単元のはじめに見童と相談しながら作成したルーブリック

発見!たんけん!海田町 ~海田町の“いいね”を伝えよう~

名前

☆☆今日の自分の学習をふり返ろう☆☆

日にち	学習活動	ふり振り返り 気付いたこと、考えたこと、新たな発見	ルーブリック
1/20	東小の三年生と交流	東小の三年生は、海田町の美しさやべんりさをよく知っていました。自分も海田町を好きになりました。	
1/20	"	海田町の美しさやべんりさをよく知りました。自分も海田町を好きになりました。	
1/20	"	海田町の美しさやべんりさをよく知りました。自分も海田町を好きになりました。	
1/20	"	海田町の美しさやべんりさをよく知りました。自分も海田町を好きになりました。	
1/20	"	海田町の美しさやべんりさをよく知りました。自分も海田町を好きになりました。	
1/20	"	海田町の美しさやべんりさをよく知りました。自分も海田町を好きになりました。	
1/20	"	海田町の美しさやべんりさをよく知りました。自分も海田町を好きになりました。	
1/20	"	海田町の美しさやべんりさをよく知りました。自分も海田町を好きになりました。	
1/20	"	海田町の美しさやべんりさをよく知りました。自分も海田町を好きになりました。	
1/20	"	海田町の美しさやべんりさをよく知りました。自分も海田町を好きになりました。	

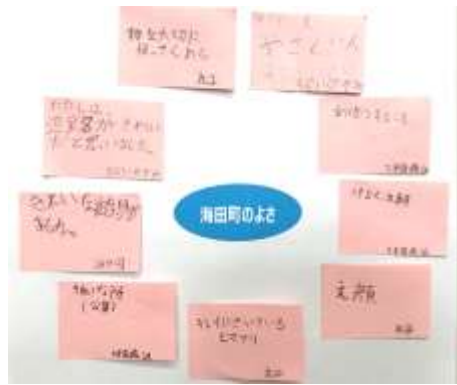
自己評価表



- 授業の振り返り
- ルーブリックの活用
- 振り返りの視点

学びの言語化

③振り返りの方法



11月 → 1月



「海田町のよさ」ウェビングの比較



作成物や自己評価等の比較 → 学びの深化

学びの言語化

海田町は小さな町だけど、こんなに“いいね！”がたくさんある

海田町には「美しさ」だけでなく「人の努力」や「便利さ」があって、心が温かくなる

海田町の名所を知り、ポスターにまとめるうちに「海田町ってすてきだな」

海田町の“いいね！”をもっと見つけて、みんなに知らせたい

③振り返りの方法



この単元で学習したことから、他の学習や生活にいかせそうなものはありますか？

海田町の“いいね！”
が見つかったので海田
町で過ごすのが楽しく
なると思う

他の“いいね！”を見つ
けて、ワクワク楽しくな
ると思うから

ウエビングが他の学習
に生かせそう

他の場所でも、「美し
さ」「便利さ」「努力」を
見つけることができそう



学んだことの全体共有→**抽象化・概念化**
→これからの学習への転用

学びの
言語化

実践事例 2

単元情報

単元名

食文化の良さを伝えよう～海田町から発信しよう～

探究課題

食文化

学年（時間）

小学校第5学年（全4 1時間）

単元構想図

本質的な問い：食文化はなぜ自分たちの生活に大切なんだろう。

5 学年 単元名 食文化の良さを伝えよう～海田町から発信をしよう～

身に付けたい資質・能力

主体性	学習してきたことを活かして、必要に応じて修正を加えながら、目的に応じて調べたり、自分の生活に生かしたりすることができる。
コミュニケーション力	進行の工夫をしたり、互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。
メタ認知	学習内容や自分自身の成長や課題について、自己評価と他己評価を活かしながら、多面的・多角的に振り返ることで、自分の生活に生かそうとしている。

指導方法 プロジェクト型学習

海小 food culture プロジェクト②
「海田さつま」はどうやってできたの？

新たな問いへ

海小 food culture プロジェクト③
自分たちにできることは何だろう？

問題の解決

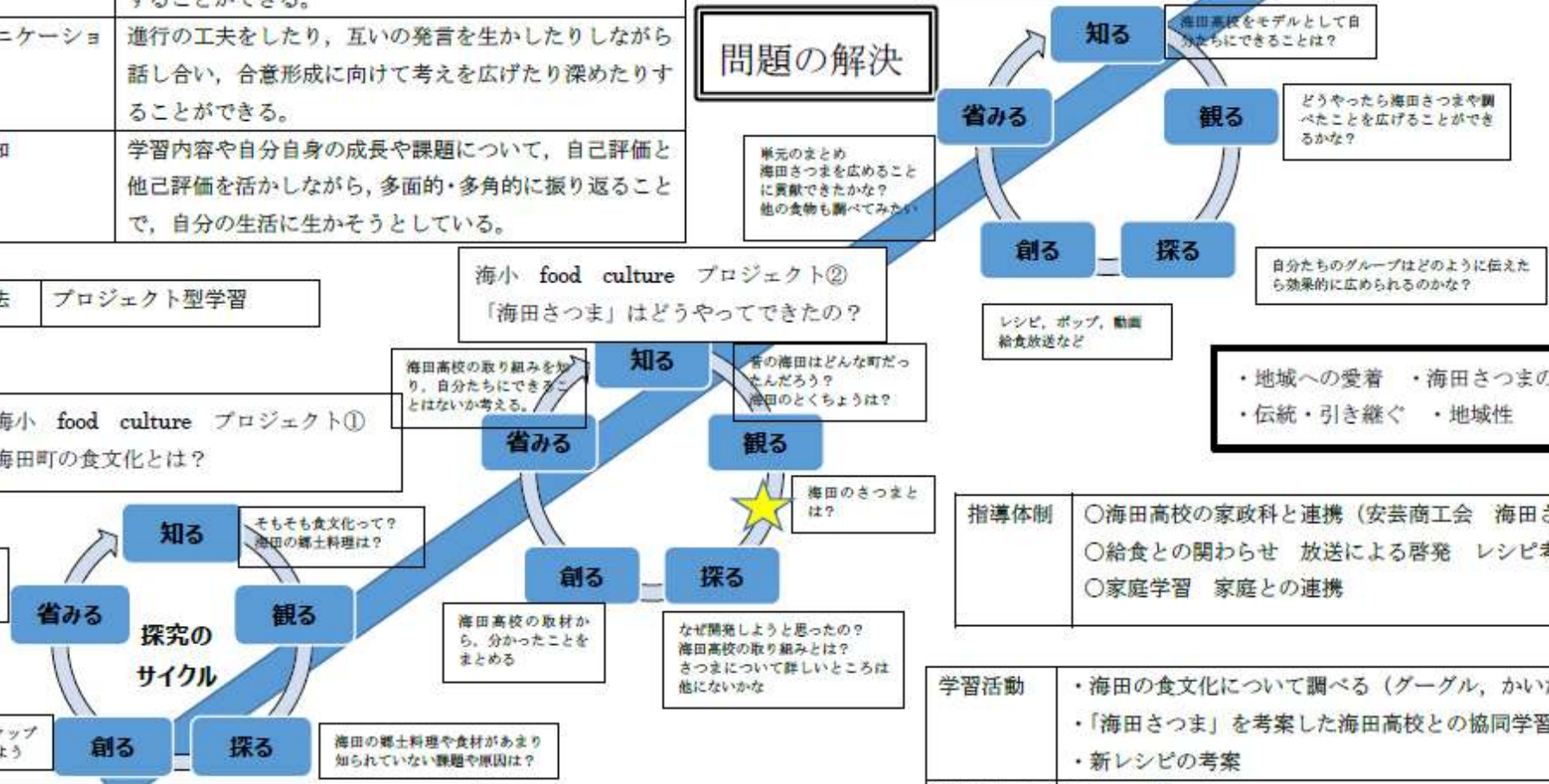
単元のまとめ
海田さつまを広めることに貢献できたかな？
他の食物も調べてみたい

海小 food culture プロジェクト①
海田町の食文化とは？

海田の郷土料理についてもっと詳しく知りたい

ウェビングマップにまとめてみよう

問題：海田町の食文化への関心が低い。



・地域への愛着 ・海田さつまの理解
・伝統・引き継ぐ ・地域性

指導体制

- 海田高校の家政科と連携（安芸商工会 海田さつまの会）
- 給食との関わらせ 放送による啓発 レシピ考案
- 家庭学習 家庭との連携

学習活動

- ・海田の食文化について調べる（グーグル、かいた）
- ・「海田さつま」を考案した海田高校との協同学習
- ・新レシピの考案

学習評価

- ルーブリック
- ポートフォリオ

海田小学校 5 年生

食文化のよさを伝えよう

～海田町から発信しよう～

「食文化のよさ」について、自分で決めた課題について調べたり、調べたことを発信したりする活動を通して、友達とかかわりながら、人とかかわり合う力を身に付け、「食文化のよさ」を知ってもらうために何ができるか、どのような方法があるか考え行動することができる。

🍷 課題設定の工夫

- 題材との出会いの工夫
- 疑問の問題化
- 学びの連続性



👥 協働の場づくりの工夫

- 目的の共有化
- 情報の共有化
- 教員のファシリテート



🔄 探求のサイクル③ 自分たちにできることは何だろう？(14)

- ・自分たちができることを考えよう(探る)
- ・テーマを決めて、準備をしよう。(知る・観る)
- ・発信をしよう。(創る)
- ・自分たちの活動により、海田町の食文化の良さを発信できたか振り返る。(省みる)



🔄 振り返りの工夫

- 学びの言語化
- 海小マイ成長チェックリスト
(児童用ルーブリック)
- 学びの転用

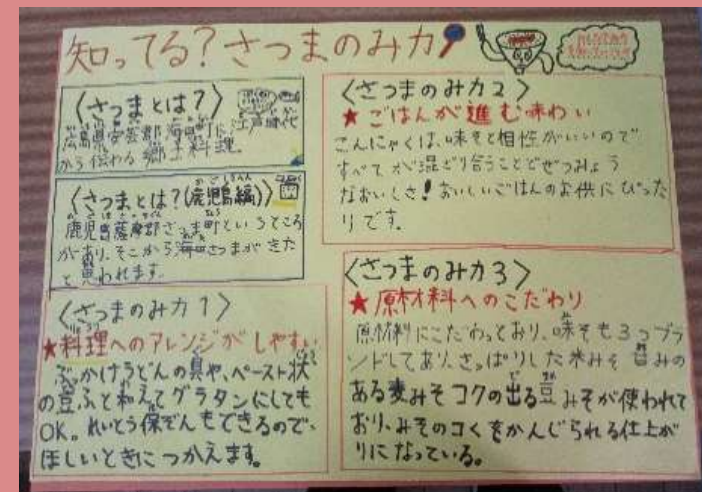
① 課題設定の工夫	・ 題材との出会いの工夫 ・ 疑問の問題化 ・ 学びの連続性
② 協働の場づくりの工夫	・ 目的の共有化 ・ 情報の共有化 ・ 教員のファシリテート
③ 探求のサイクル③	・ 自分たちができることを考えよう(探る) ・ テーマを決めて、準備をしよう。(知る・観る) ・ 発信をしよう。(創る) ・ 自分たちの活動により、海田町の食文化の良さを発信できたか振り返る。(省みる)
④ 振り返りの工夫	・ 学びの言語化 ・ 海小マイ成長チェックリスト(児童用ルーブリック) ・ 学びの転用



🔄 探求のサイクル②

「海田さつま」はどうやってできたの？(14)

- ・ 昔の海田はどんな町だったのか調べよう。(知る)
- ・ 「さつま」について調べよう。(観る)
- ・ 海田高校に取材しよう(探る)
- ・ 海田高校の取材から分かったことをまとめて発表しよう。(創る)
- ・ 海田高校の取り組みや調べたことから「海田さつま」に対して関心をもち、それらをどのように広めていけるか考えよう。(省みる)



食文化のよさを伝えよう

～海田町から発信しよう～

「食文化のよさ」について、自分で決めた課題について調べたり、調べたことを発信したりする活動を通して、友達とかかわりながら、人とかかわり合う力を身に付け、「食文化のよさ」を知ってもらうために何ができるか、どのような方法があるか考え行動することができる。



探求のサイクル③

自分たちができることは何だろう？(14)

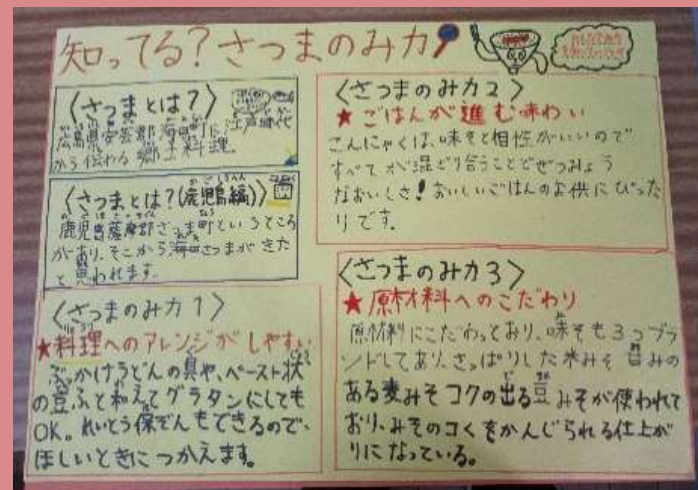
- ・自分たちができることを考えよう (探る)
- ・テーマを決めて、準備をしよう。(知る・観る)
- ・発信をしよう。(創る)
- ・自分たちの活動により、海田町の食文化の良さを発信できたか振り返る。(省みる)



探求のサイクル②

「海田さつま」はどうやってできたの？(14)

- ・昔の海田はどんな町だったのか調べよう。(知る)
- ・「さつま」について調べよう。(観る)
- ・海田高校に取材しよう(探る)
- ・海田高校の取材から分かったことをまとめて発表しよう。(創る)
- ・海田高校の取り組みや調べたことから「海田さつま」に対して関心をもち、それらをどのように広めているか考えよう。(省みる)



その他の工夫点

国語科「提案の仕方」との関連を図り、海田さつまを広める様々な方法を考え、それを広めていくために提案の仕方を学び、生かしていった。スライド資料等を用いて発表した。

単元を通して (○成果 ●課題)

- 海田さつまというテーマで単元開発ができ、子供が自分事として取り組めた。
- 様々な地域団体や学校などにつながることで学習が深まった。
- ルーブリックや振り返りの視点を意識することで、子供たちの成長をより促せた。
- 探究のサイクルを効果的に行うためには、より大きな計画と見通しが必要だった。次年度へ単元構想シート等を引き継ぎ、学びをつなげていく。
- 地域連携の積み上げと実績をつないでいく。
- 資質・能力と単元の目標とを関連付け、さらにルーブリックを学びや指導に生かしていく。

実践事例 3

単元情報

単元名

西のチカラプロジェクト たんけん！発見！海田町の“いいね”を伝えよう

探究課題

地域共生社会

学年（時間）

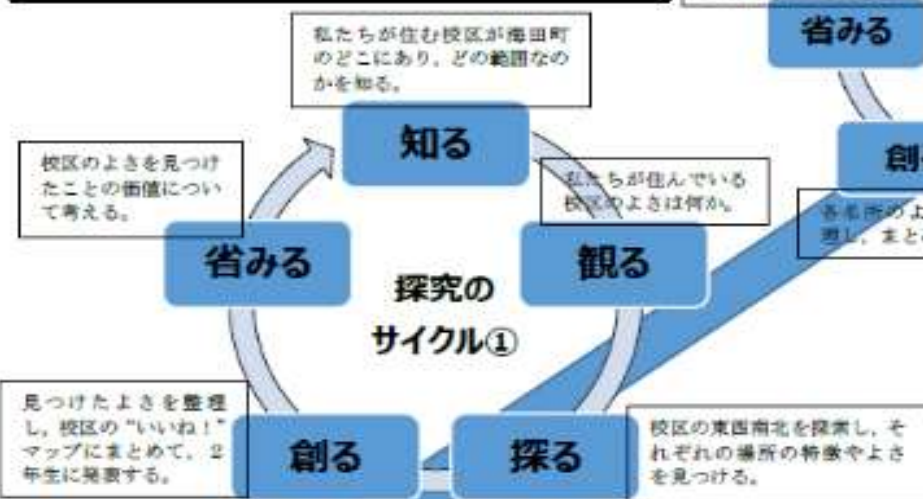
小学校第3学年（44時間）

身に付けたい資質・能力

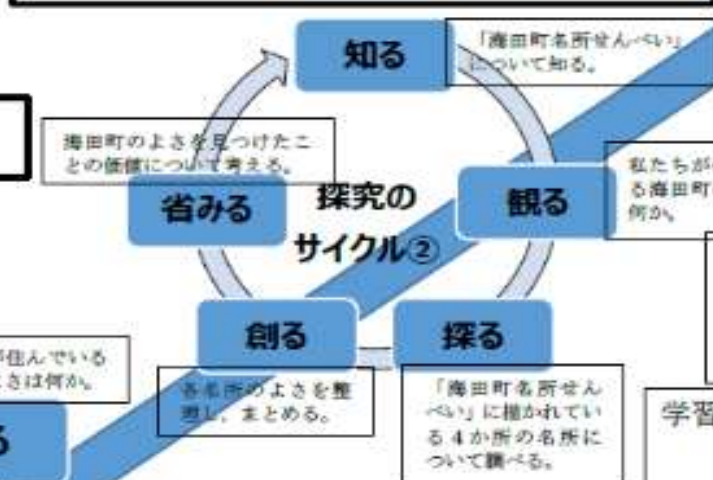
主体性	海田町の“いいね！”を見付けたり、伝えたりすることに興味や関心をもち、探究的に課題を見付けたり、解決に向けて取り組んだりする。
コミュニケーション力	相手の考えを受け入れながら聞き、集めた情報を比較、分類、関係付けながら整理したり、考えを伝えたりする。
メタ認知	地域に対する自己の学びの深まりは、海田町の魅力について探究的に学んだ成果であることに気付いている。

指導方法	・プロジェクト型学習 ・NIE
------	--------------------

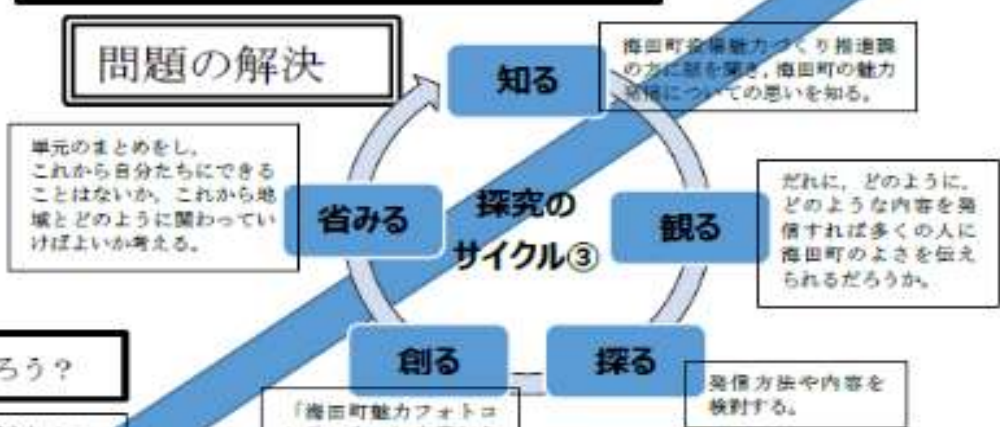
①私たちが住んでいる校区のよさは何だろう？



②私たちが住んでいる海田町のよさは何だろう？



③海田町のよさをたくさんの人に伝えるには、どうすればよいだろう？



新たな問いへ

問題：地域社会への関心や馴染みが薄い。

指導体制	○シルバー人材センター、海田市ガイドの会、海田町役場魅力づくり推進課等との連携 ○OT・Tによる指導
------	---

学習活動	海田町のよさを伝える方々と関わりながら地域の“いいね！”を見付け、見付けた“いいね！”を多くの人に伝える活動を通して、地域のよさに気付くとともに、地域に親しみや誇りをもち、これからの自分自身と地域の繋がりについて考えることができるようにする。
------	---

学習評価	○児童用ルーブリック ○行動観察 ○ポートフォリオ
------	------------------------------

探究のサイクル3（学びの発信）

ポイント

- ・ 児童の思いから連続性のある探究のサイクル3へ
【学びの連続性】



これからどのような活動を行いますか。



たくさんの人に知ってもらえるように発信していきたいな。



役場や織田幹雄スクエアに貼ってもらったら、たくさんの人が見てくれないかな。



貼ってもよいか聞いてみないといけないね。でも誰に聞いたらいいのかな。



魅力づくり推進課の方も、僕たちと同じで「海田の魅力を発信したい」と話してる！魅力推進課の方に相談してみよう。

そう言えば、1学期のフォトコンテストでお世話になった魅力づくり推進課の方のお話の記事が出ていましたよ。



児童の思いや考えを予測し、状況に応じて「材」を提供するなど授業をファシリテートすることで、学びの熱量を高めることに繋げる。

探究のサイクル3（学びの発信）



ポイント

- ・外部人材との綿密な打ち合わせ 【事前連携】

魅力づくり推進課では、海田町の魅力が詰まったマップを作成しています。



デジタルサイネージを活用して、情報を発信しています。役場で手続きの順番待ちをしているときなど、訪れた人がみてくれていますよ。

持ち運べるし、写真がたくさん使われていて、一目で“いいね”が分かるね。

デジタルサイネージっていうんだ。ひまわりプラザにもあって、ぼくもみたことがあるよ。

みなさんの考えているポスターや新聞に、マップやデジタルサイネージでの発信も加えて、もう一度発信方法を考えてみてください。一緒に協力して海田町の“いいね”を発信しましょう。

双方の思いを伝え合いながら、学習内容について連携を図っておくことで、学びの質を高めるための外部人材の活用に繋げる。

探究のサイクル3（学びの発信）

ポイント

- ・ 目的に合った効果的な発信方法进行分析【発信方法の分析】

それぞれの発信方法を分析してみよう。



発信の時には、どれも大人の人が必要なのは同じだね。



じゃあ、それぞれのメリットとデメリットを出していけば、よい発信方法を選べるかな。



デメリットの改善策も考えて、決めていこう。



デジタルサイネージは、3か所しかないけど、私も見たことがあるように、訪れた人は見るんじゃないかな。



マップは、いいなと思ったけど、役場の人々が素敵なものを作っていたから、同じマップを作らなくてもいいんじゃないかな。



ポスターと新聞はどちらも掲示するものだね。キャッチコピーを生かしたポスターは、子どもも見やすくいいと思うな。



板書：メリット・デメリット表を活用した整理・分析

発信方法も、児童の考えを引き出しながら根拠をもって決定していくことで、次時からの制作も、自分事として活動できるように繋げる。

探究のサイクル3（学びの発信）

ポイント

- “本物”からのアドバイス（協働的作業の充実）



アドバイスを聞く様子



デジタルサイネージ用スライドを全員で修正している様子



成果物：児童が作成したポスターとデジタルサイネージスライドの一例

“いいね！”ポイント②

第2位

織田幹雄スクエア

知って広がる
織田さんのきろくを学べるノート！！

ノートには、れん習の
ときのデータがたくさん
記録されています。
織田幹雄さんのどりよ
くが学べます。



“いいね！”ポイント①

ひまわり大橋

広くて安心！

こんなに広い！！

車が通らず、横幅が
広いので赤ちゃんを
連れている人やお年
寄りなど、どんな人
でも安心・安全に通
れます。



本物からのアドバイスで、発信への熱量を高めるとともに相手意識も高める。

海田西小学校 3 年生が見つけた

海田町の“いいね”！



「海田町の魅力が多くの方に伝わりますように」という願いと思いを込めて作成しました。

作成：海田西小学校 3 年生



海田町HP「海田西小学校3年生が見つけた海田町の“いいね！”」

実践事例 4

単元情報

単元名

西のチカラプロジェクト～みんないきいき！住みよい町づくりを目指して～

探究課題

福祉

学年（時間）

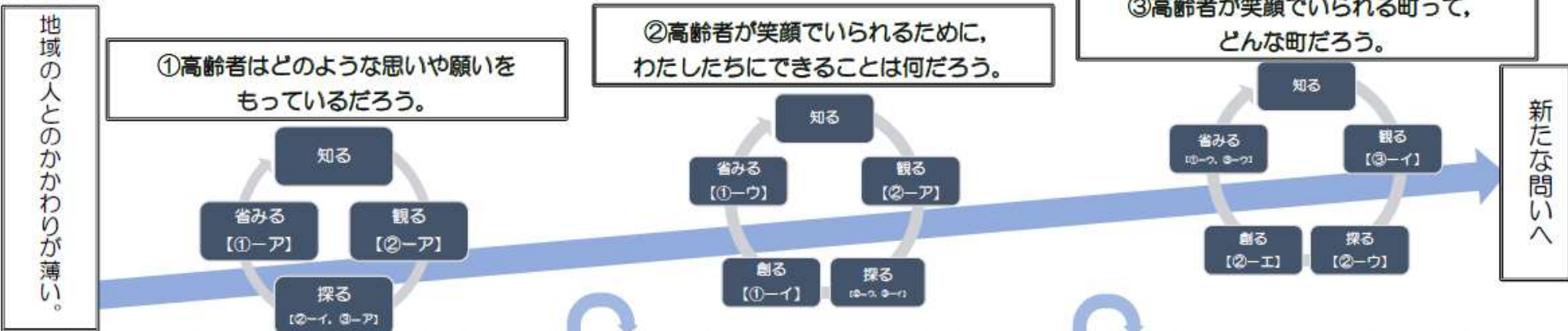
小学校第4学年（全4 1時間）

単元構想図 第4学年 単元名「西のチカラプロジェクト～みんないきいき！住みよい町づくりを目指して①～」(全41時間)

《本質的な問い》

海田町に暮らすすべての人々が笑顔でいられる町であるために、わたしたちには何ができるだろうか。

問題



	探究のサイクル1 (12時間)	探究のサイクル2 (14時間)	探究のサイクル3 (15時間)
知る 💡	<ul style="list-style-type: none"> 3年時の学習から、海田町にいろいろな世代の人が住んでいることを捉える。 すべての人が幸せにくらすために「福祉」という考えを知ることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新聞記事から、わたしたちが高齢者に関わることで、元気や笑顔を出せることができることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 織田陣屋スクエアでの「寿大学」など、町内で高齢者を笑顔にするための活動をしている人がいることを知る。
観る 👁️	<ul style="list-style-type: none"> 動画教材 (NHK for school「ドスレコスレ」) から、高齢者が抱える問題として、「老老介護」「孤立化」があることを知り、「高齢者は幸せにくらせているのだろうか」という課題をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを立ち上げ、海田町の高齢者との交流会の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「寿大学」で活動している人たちは、どのような思いをもって活動しているのか話を聞き、2回目の交流会に向けた課題を明らかにする。 2回目の交流会に向けた今後の計画を立てる。
探る 🔍	<ul style="list-style-type: none"> 海田町社会福祉協議会や「車椅子とことこクラブ」と連携し、高齢者疑似体験を通して、高齢者の身体的不自由さを体験する。 インターネットや本から、高齢者の目の見え方や聞こえ方、認知症、社会福祉施設などについて調べ学習をする。 「車椅子とことこクラブ」の方々にインタビューを行い、元気の秘訣や困り感、悩み、わたしたちへの願いなどを聞く。 調査したことをもとに、高齢者が元気に暮らすための秘訣が、「人と関わること」であると分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者もわたしたちも楽しめる遊び」について話し合う。 ◆ダイアモンドランギング、ピラミッドチャート 視点に沿っているか「実現可能性」について、交流会の内容について修正し、交流会の目的を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「寿大学」で活動している人たちの思いを整理し、自分たちの活動と関連付ける。 1回目の交流時の課題をもとに、交流会の内容を分析し、改善する。 「視点に沿っているか」「実現可能性」について、交流会の内容について修正する。
創る ✂️		<ul style="list-style-type: none"> 海田町社会福祉協議会や海田町の高齢者（「車椅子とことこクラブ」あじさいの会「六つ星」）と1回目の交流会の準備をする。 交流会を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 海田町社会福祉協議会や海田町の高齢者（「車椅子とことこクラブ」あじさいの会「六つ星」）と2回目の交流会の準備をする。 交流会を実施する。
省みる 🧠	<ul style="list-style-type: none"> 学びを振り返り、海田町に住む高齢者が笑顔で暮らせるために、私たちにできることは何かという視点で学習を振り返り、新たな課題に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 1回目の交流会について、交流会の満足度や問題点、自己の生き方の姿勢について振り返り、2回目の交流会に向けた新たな課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生き方ともつなげながら、単元を通じた学びを振り返る。

探究課題との出会い



 新聞記事・動画教材の活用

海田町に住む高齢者は幸せだろうか？

どうして「孤立化」や「老老介護」が進むのだろう。かわいそう。



私たちと違って高齢者はなんだか幸せそうではないね。



不幸せな人ばかりなのかなあ。元気な高齢者もいっぱいいるよ。



どうして違いがあるのか調べてみたいね。



子どもの言葉で学びをつなぐ



高齢者はどんなことに
困っているのか知りたい！



老人ホームや公共施設で働
いている人に話を聞いてみ
たい！



高齢者疑似体験



福祉授業



海田町社会福祉協議会やボランティアグループ「車椅子とことこクラブ」の方々を招き、高齢者疑似体験をしたり、福祉授業をしていただいたりした。「車椅子とことこクラブ」の方々の多くが高齢者だと知り、「元気な高齢者とそうでない高齢者のちがいは何か」という問いをもつ児童が数人いた。また、「元気の秘訣は何かを聞いてみたい」という活動の振り返りもみられたので、「車椅子とことこクラブ」の方々へインタビューする機会を別日に設けた。

児童の振り返りから生まれた学び



高齢者疑似体験を通して生まれた「高齢者福祉」に対する多面的な気づき

体験を通して、どんなことを考えましたか。

わたしたちはまだ高れい者じゃないから目が見えにくくないけど、いつか自分たちも高れい者になるわけだから、高れい者の人たちが「いつもどんな思いで」
「目をすごしているのかが体けんして分かりました」
高れい者の人をほごする人もずと見守って
いないといけなから、ほごする人も
たいへんだなと思いました。

体験を通して、どんなことを考えましたか。

高れい者の目や耳、手足が「とろろ」風になっている
かかづかった。高れい者どうして「住むのは、電
全だと思っていたけど」それもあつけないんだな
と体けんして思つた。高れい者の人々からしても
とておぼないから、早くろうじんホームに1211って
かしてでも安全にしろしてほしいなと思つた。
少くとも目が見えないから信号1111にあるいておけ
るなとして高れい者の心配をなして幸せになつてほしい。

体験を通して、どんなことを考えましたか。

高れい者の気持ちになる目も見えにくくて、音も小さ
くて聞こえにくくて、たいへんだなと思いました。
ほごする人もまいにちこのさぎょうをしないといけな
いのか。高れい者といっしょにくらしている人は、すごいなと思
いました。

体験を通して、どんなことを考えましたか。

高れい者は、おもたとりも体が、おもくて、じかみ
えにくく、足もまげにくくまがりにくいのので、
せ、はりかいいごの人か、いっさいとしんは「
だし、あんだなと思つたので、これ
か、毎日つづくのはいやから、ホラシ
ティアの人とかか、まことにいたりするのは、
あん心、するなと思つりました。

交流会



【感想】

- ・話をしながら遊ぶことができた。
- ・助け船を出してくれたり、楽しくできました。
- ・コミュニケーションが一方通行にならないところが良かった。
- ・みんながよくお話ししてくれました。
- ・いろいろな話もできました。
- ・とにかく楽しかったです。
- ・あっという間の時間でした。
- ・みなさんから元気をもらいました。
- ・また機会があれば参加させていただきたく思います。ありがとうございました。

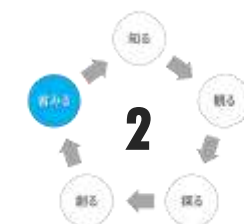


【もっとよくできそうなこと】

- ・6つのうち4つしか参加できませんでした。時間配分の工夫がいたと思いました。
- ・字が小さくて見えにくいものがありました。
- ・書きとめておくメモ用の紙があればよかった。
- ・説明の声が聞こえにくいときもありました。

【高れい者のみなさんからの提案】

- ・わたしたちがわがじゅんびすることがあってもいい。
- ・わたしたちだけでなく、地いきの方々と楽しみたいと思いました。



交流会を振り返る活動を通して…



わたしたちと高齢者とで、考えが似ている所や違うところがありますか。

新たな視点への気付き

9月20日
わたしたちは遊びが楽しいと思っていたからコミュニケーションをせんせんとれていながらたと思うから、次は遊びはもういいけど、コミュニケーションをもっとしたらいいと思いたす。だからのアドバイスもいかしてきてほしいなと思いたす。

9月20日
高年齢者の感想をあらためてみると自分たちの思いとすこしちがうということが分かった。高年齢者のもとよくしてほしいところとかをふまえて自分たちのこうしたらよかたもいれたりして次の交流会は前のものよりも、もとよいものにしたいてす。

見方・考え方の変容

「交流会前の自分・高齢者のイメージ」と「交流会後の自分や実際の高齢者のすがた」をくらべると…
 ・高年齢者…体の悪い人はかり？元気がない？ → 体の悪い人はいたけど、ほとんどの人が元気！
 ・わたしは交流会を通して、高年齢者は耳や目が悪い人はかりたけど、それでも元気な人が多く、わたしも元気に楽しくてきた。
 ?高年齢者のために、ほかにてきることある？(たとえば、また交流会をするなど。)

「交流会前の自分・高齢者のイメージ」と「交流会後の自分や実際の高齢者のすがた」をくらべると…
 交流会前の自分の高年齢者のイメージは、元気がないそれにイメージしていたけど、交流会の自分は、元気で、交流会を通してもっと元気にたと思いたす。かんは、また交流会がせうくしてたか。

もう一度交流会をしたい！

自分たちだけの視点だけでなく高齢者の視点も大事だね！

高齢者からたくさんの意見をもらったね

もう一度考えてもっとよい交流会にしようよ！



実践事例 5

単元情報

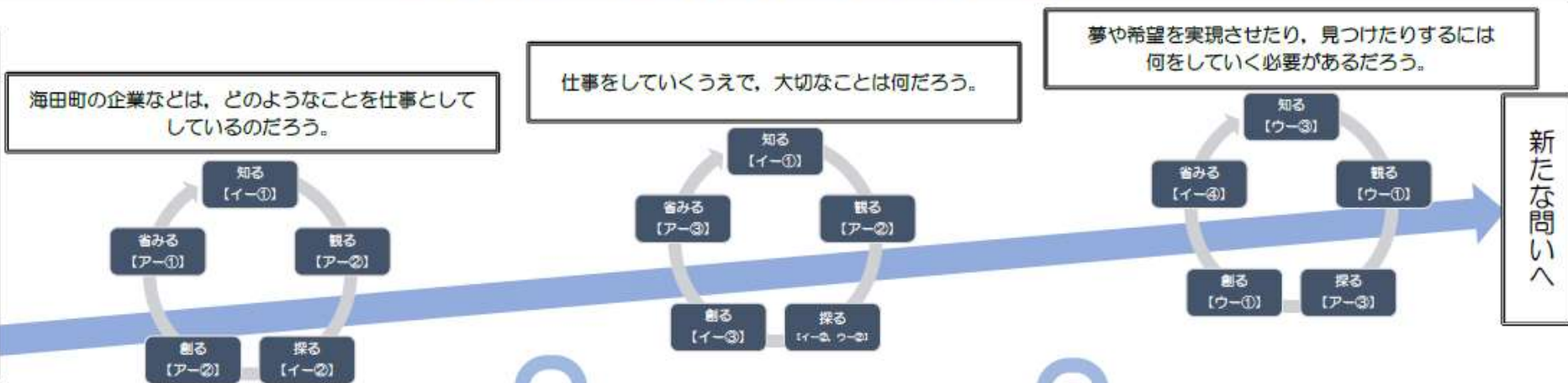
単元名	生き方、働き方
探究課題	勤労
学年（時間）	中学校第2学年（全60時間）

《本質的な問い》

自己実現を図るために大切なこととは？

問題

自分が果たしている役割の意義や必要性の実感が薄い



	探究のサイクル1 (6時間)	探究のサイクル2 (45時間)	探究のサイクル3 (9時間)
知る 💡	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりの多くの人が仕事をして働いていることを捉える。 海田町にも多くの企業などがあり、色々な仕事をしていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の振り返りや先生の話聞いて、仕事をするうえで大切だと考えられることについて知る。 職場体験に行くことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 先生の現在までのキャリアについて話をしたり、夢や希望を実現させた有名人の話や話を聞いたりする。
観る 👁️	<ul style="list-style-type: none"> 海田町にどのような企業などがあるのか、インターネットを使って調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> マナー講座を受講し、仕事をしていくうえでのマナーについて学習する。 中国新聞社の方から、新聞社の仕事や新聞の効果的なつくり方について話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の強みや弱み(適性)を、自己を振り返ったり、仲間と交流したりする中で気づく。
探る 🔍	<ul style="list-style-type: none"> 海田町の企業などがどのようなことを仕事としているのかや、SDGsに関する取り組みなどについて、インターネットを使って調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> アポイントメントの取り方や職場体験の打ち合わせに向けて準備し、職場体験先へ事前訪問する。 職場体験に行き、仕事を体験したり、職場の方の話を聞いたりする。 職場体験先にお礼状を書き、届ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 適性や価値観を基に具体的な目標を考え、目指す将来に向けて将来設計を行う。
創る ✂️	<ul style="list-style-type: none"> 海田町の企業などの取り組みについて、レポートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験で学んだことを新聞にまとめる。 よりよい職場体験新聞を作るために必要なことを、みんなの新聞から見つけ出す。 完成した職場体験新聞を読み合い、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアプラン(将来設計)について交流し、新たな価値観に触れ、個人の世界観を広げる。
省みる ☁️	<ul style="list-style-type: none"> 世の中にある仕事はどのようなものかという視点で学習を振り返り、仕事をしていくうえで大切なことについて新たな課題に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事をしていくうえで大切なことという視点で学習を振り返り、自分の適性について目を向ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の生き方ともつなげながら、単元を通じた学びを振り返る。

仕事をしていくうえで、大切なことは何だろう。



探究のサイクル2（45時間）

- 生徒の振り返りや先生の話聞いて、仕事をするうえで大切だと考えられることについて知る。
- 職場体験に行くことを知る。
- マナー講座を受講し、仕事をしていくうえでのマナーについて学習する。
- 中国新聞社の方から、新聞社の仕事や新聞の効果的な作り方について話を聞く。
- アポイントメントの取り方や職場体験の打ち合わせに向けて準備し、職場体験先へ事前訪問する。
- 職場体験に行き、仕事を体験したり、職場の方の話を聞いたりする。
- 職場体験先にお礼状を書き、届ける。
- 職場体験で学んだことを新聞にまとめる。
- よりよい職場体験新聞を作るために必要なことを、みんなの新聞から見つけ出す。
- 完成した職場体験新聞を読み合い、交流する。
- 仕事をしていくうえで大切なことという視点で学習を振り返り、自分の適性について目を向ける。



外部人材の招聘



マナー講習



中国新聞出前授業

仕事をしていくうえで、大切なことは何だろう。



探究のサイクル2（45時間）

- 生徒の振り返りや先生の話聞いて、仕事をするうえで大切だと考えられることについて知る。
- 職場体験に行くことを知る。
- マナー講座を受講し、仕事をしていくうえでのマナーについて学習する。
- 中国新聞社の方から、新聞社の仕事や新聞の効果的なつくり方について話を聞く。
- アポイントメントの取り方や職場体験の打ち合わせに向けて準備し、職場体験先へ事前訪問する。
- 職場体験に行き、仕事を体験したり、職場の方の話を聞いたりする。
- 職場体験先にお礼状を書き、届ける。
- 職場体験で学んだことを新聞にまとめる。
- よりよい職場体験新聞を作るために必要なことを、みんなの新聞から見つけ出す。
- 完成した職場体験新聞を読み合い、交流する。
- 仕事をしていくうえで大切なことという視点で学習を振り返り、自分の適性について目を向ける。



地域と繋がる



職場体験学習

仕事をしていくうえで、大切なことは何だろう。



探究のサイクル2（45時間）

- 生徒の振り返りや先生の話聞いて、仕事をするうえで大切だと考えられることについて知る。
- 職場体験に行くことを知る。
- マナー講座を受講し、仕事をしていくうえでのマナーについて学習する。
- 中国新聞社の方から、新聞社の仕事や新聞の効果的なつくり方について話を聞く。
- アポイントメントの取り方や職場体験の打ち合わせに向けて準備し、職場体験先へ事前訪問する。
- 職場体験に行き、仕事を体験したり、職場の方の話を聞いたりする。
- 職場体験先にお礼状を書き、届ける。
- 職場体験で学んだことを新聞にまとめる。
- よりよい職場体験新聞を作るために必要なことを、みんなの新聞から見つけ出す。
- 完成した職場体験新聞を読み合い、交流する。
- 仕事をしていくうえで大切なことという視点で字を振り返り、自分の適性について目を向ける。



目的の明確化



新聞づくり



文化祭での発表

仕事をしていくうえで、大切なことは何だろう。



探究のサイクル2（45時間）

- 生徒の振り返りや先生の話聞いて、仕事をするうえで大切だと考えられることについて知る。
- 職場体験に行くことを知る。
- マナー講座を受講し、仕事をしていくうえでのマナーについて学習する。
- 中国新聞社の方から、新聞社の仕事や新聞の効果的な作り方について話を聞く。
- アポイントメントの取り方や職場体験の打ち合わせに向けて準備し、職場体験先へ事前訪問する。
- 職場体験に行き、仕事を体験したり、職場の方の話を聞いたりする。
- 職場体験先にお礼状を書き、届ける。
- 職場体験で学んだことを新聞にまとめる。
- よりよい職場体験新聞を作るために必要なことを、みんなの新聞から見つけ出す。
- 完成した職場体験新聞を読み合い、交流する。
- 仕事をしていくうえで大切なことという視点で学習を振り返り、自分の適性について目を向ける。

中国新聞「ヤングスポット」への投稿

本校では、年間を通して行事等の振り返りを中国新聞社のヤングスポットへ応募している。今年度は22名（1月末時点）の作品が掲載された。職場体験に関する投稿も掲載された。

◆ 「職場体験 食品に興味湧く」

スーパー等に提案するおかずを開発

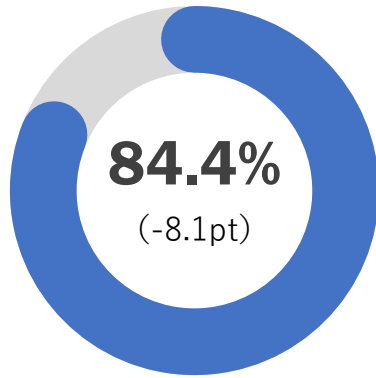
◆ 「保育士の業務 大変さ実感」

保育士はただ子どもと遊ぶ職業ではなく、遊んだ物の除菌等、見えないところの仕事もあることに気付いた。

資質・能力についてのアンケート

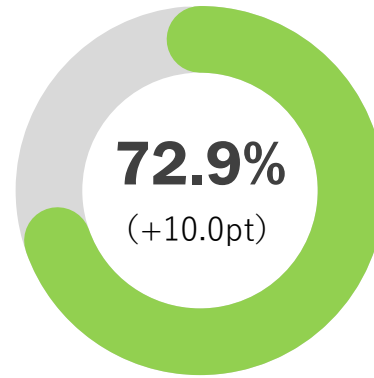
R6.1月実施（前年度比）
数値は3校平均

主体性



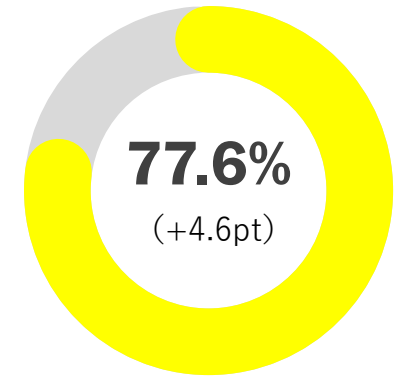
授業では、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなど、主体的に学習に取り組んでいる。

コミュニケーション力



授業では、次自分の考えを積極的に伝えている。

メタ認知



振り返りでは、学習を通して自分自身の変化に気付いたり、新たな課題を見つけたりすることができた。

◎自分の考えを積極的に伝えようとする児童・生徒が増加した。振り返りを通して、課題に対する自分の考えを整理することで、自分のことを語れる基盤が整った。

◎振り返りにおいて、自分自身の変化に気付いたり、新たな課題について考えたりする児童・生徒が増えてきた。視点をもとに振り返ることで、自己変容を自覚し、探究的な学習のよさに気付くことができた。

▲主体的に学びを深める児童・生徒の割合が減少した。

- ・ 開発単元が児童・生徒の姿をイメージして構想されたものかどうか
- ・ 探究課題や本質的な問いが児童・生徒の思いに沿うものになっているか
- ・ 学びの現在地を確かめながら探究のサイクルを意識できたかどうか

次年度に向けて

中学校区でのつながり

9年間を見通した資質・能力

学年間、学校間の連続した課題設定

振り返りの見取り

ループリックの適正

地域の材との継続した繋がり

各教科等との接続（カリキュラム・マネジメント）